

まるりん通信



発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911



屋久島博物館3館連動企画小杉谷閉山50周年記念

～小杉谷・石塚写真展開催中！！～



屋久島環境文化村センターでは、「屋久杉自然館」及び「屋久島町歴史民俗資料館」と共同で「小杉谷・石塚写真展」を開催しています。

大正14年から昭和45年までの約半世紀にわたって栄え、閉山から50周年を迎えた小杉谷・石塚集落。

かつての賑わいが聞こえてくる貴重な写真を展示しておりますので、この機会にぜひ町内3つの博物館にお越しください。

また、写真展の開催に併せて、3館合同でスタンプラリーも実施しています。

小杉谷・石塚集落の歴史に思いを馳せながら、オリジナルのスタンプを集め、豪華な特典をゲットしてください！

★写真展及びスタンプラリー実施施設☆

- 1 期間：令和3年3月31日（水）まで
- 2 問い合わせ先 事業課 TEL 0997-42-2900

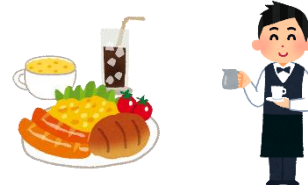
- (1) 屋久杉自然館 【全般（特別展）】
- (2) 屋久島町歴史民俗資料館 【暮らし】
- (3) 屋久島環境文化村センター 【自然風景等】

屋久島環境文化村センター喫茶コーナー入居者募集

鹿児島県では、屋久島環境文化村センター内の喫茶コーナーの入居者を募集します。



- 1 入居場所：屋久島環境文化村センター1階（127.61㎡）
- 2 所在地：屋久島町宮之浦823番地1
- 3 応募締切：令和3年2月26日（金）まで ※当日消印有効
- 4 応募方法等：郵送又は持参による。なお、応募希望の方は、応募に必要な書類や応募資格など、その他詳しい内容を記載した「入居者募集要領」を送付又は配布しますので、次の問い合わせ先までご連絡ください。
- 5 問い合わせ先：〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10号1号
鹿児島県環境林務部自然保護課自然保護係 眞邊
TEL 099-286-2613 FAX 099-286-5546



屋久島環境文化財団 インストラクターの募集について

令和3年度採用のインストラクター（環境学習研修指導員）を募集します。応募資格、応募方法など、詳細は財団ホームページをご覧ください。

- 1 募集期間：令和3年1月22日（金）～令和3年3月2日（火）
- 2 問い合わせ先：屋久島環境文化財団 総務企画課（電話 0997-42-2911）



『循環と共生の社会を目指すESD活動推進拠点』

インストラクター福元（やっくん）

「持続可能性」という言葉が今や広く用いられるようになってきました。変わるはずのないと思われてきた自然環境は人間活動によって変化し、人口減少が進む日本では社会構造も変化し、新型コロナウイルスによって世界そのものが変化しています。大きな変化の中「このままでは…」という意識の変化が高まっていると感じています。暗いニュースに聞こえるかもしれませんが、幸いにして私たちは持続不可能な状態に気づくことができています。明るい兆しとして、世界全体で持続可能な社会を達成する大きな目標「SDGs」という言葉の認知も大幅に上がりました。

屋久島町では、平成24年度から持続可能な社会の担い手の育成を目指し、屋久島型ESDを推進しています。屋久島環境文化研修センターは、教育委員会や学校と連携し、さまざまな屋久島の環境（モノ・コト・ヒト）を結ぶかけ橋役として、「地域ESD活動推進拠点」に登録されています。また、昨年12月に屋久島町教育委員会より小藺と福元が「屋久島町ESDアドバイザー」の委託を受け、更なるESDの深化とSDGs達成へ向けた教育活動を展開しています。

持続可能な社会を目指すためには、自然環境と人間活動のかかわりを体感し、両者のつながりを理解し、持続可能なむすびつきを探求することが重要だと考えています。SDGsの目標にある環境や社会課題を自分事として捉えることができる体験を提供し、これからも循環と共生の社会を目指す施設として発展を続けます。



※ESD…Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）

※SDGs…Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）

財団活動報告

○日本赤十字救急法基礎講習会

エコツーリズム推進の一環として、1/15（金）に「日本赤十字救急法基礎講習会」を実施しました。



救急隊や医師へ引き継ぐまでの応急手当の知識や技術などをじっくりと学ぶことが出来たと思います。

○幼児環境教育

1月17日（日）、令和2年度第2回幼児環境教育「焚火でほくほく焼きいもの会」を実施いたしました。



当日は13名にご参加いただきました。気温も低く、風の強い中ではありましたが、森で薪を集めて火を焚き、寒空の下で食べた焼き芋は格別においしかったです。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

屋久島を想う

研修課長 福園 和幸



「屋久島の魅力」って何だろう？
たくさんあると思いますが、その1つは「山」だと私は思います。

「あおい」海と空に映える「しろい」船体のフェリー屋久島2から屋久島が見えたとき、その雄大さから力（パワー）を感じ、「島」と言うより、まさに「洋上のアルプス」です。実際に山に入ってみると屋久杉の切り株やその他の樹木が神々しく見え、「何かがあるのでは」という雰囲気もあります。

研修センターの敷地内には、元々地杉のある森に遊歩道を作り整備された人工的な森「7000年の森」と呼ばれる所があり、そこは里山近くの森であって「圧倒的、迫力のある自然の森」ではありませんので、本物の魅力にはかないませんが、20分ほどの散歩ができるようになっていきますので、ぜひ来てください。

（3月号へ続く。）

休館日

村センター 2/1(月)、2/8(月)、2/15(月)、2/22(月)、3/1(月)、3/8(月)、3/15(月)、3/22(月)、3/29(月)

研修センター 2/1(月)、2/8(月)、2/15(月)、2/22(月)、3/1(月)、3/8(月)、3/15(月)、3/22(月)、3/29(月)

